

「岩手半兵衛音頭」を披露する子どもたち＝垂井町岩手小で



竹中半兵衛、おいらの領主

垂井町岩手小学校の全校児童60人が25日、同校グラウンドで開かれた運動会で、地域ゆかりの戦国武将、竹中半兵衛を歌い継ぐ「岩手半兵衛音頭」を披露し、集まった保護者や地域の人たちを楽しませた。

同校は竹中氏の陣屋跡にあり遺構が県史跡に指定されている。岩手半兵衛音頭は半兵衛の子孫の舞踊家が昭和50年代に振り付けを考えたとされ、地元の「半兵衛音頭振興会」が児童に教え、児童が毎年運動会で披露している。

4～6年生が和太鼓や竹の筒、鍵盤ハーモニカなどを演奏。6年の安田陽菜さん(11)と藤井沙耶伽さん(11)、5年の岩田篤樹君(10)が歌い手を務め、1～3年生が輪になって踊った。

歌い手の3人は伸びやかな声で「岩手よいとこ」「竹中半兵衛、おいらの領主」などと歌った。安田さんは「最後の運動会で初めて歌って思い出に残った」、藤井さんは「マイクがなくても声が届くように、おなかから大きな声で歌えてよかった」とそれぞれ笑顔で話していた。

(今井智文)

運動会で音頭と踊り

垂井・岩手小児童が披露